

檀信徒350人に良き因縁

曹洞宗瑞光寺因脈法会 特集

江川辰三管長が御親修



三十三回忌法要で法語を唱える江川辰三禪師

因脈法会の配役

- 引請師/堂頭 早坂文明・徳本寺住職
- 戒師/三十三回忌導師 黒田征利・瑞光寺住職 室待
- 江川辰三・曹洞宗管長 直壇
- 伊藤大英・功德院住職
- 教授師/説戒師 相原昇明・成願寺住職 室待
- 盛田正孝・正法寺住職 直壇
- 中村真一・善篤寺住職

栃木県鹿沼市の曹洞宗 会を奉修した。参列した 脈を授かった。約60人の 瑞光寺は4日、曹洞宗管 檀信徒(戒弟)約350 僧侶が随喜した。 長・大本山總持寺(横 人は良き因縁を結び、戒 因脈法会に先立って先 市鶴見区)貫首の江川辰 法を自覚した証とし 代住職の黒田義成四十五 三禪師の御親修で因脈法 て、江川禪師から因縁血 世の三十三回忌法要を江

効率世相 に警鐘

盛田 老師

川禪師の導師で奉修し 地域に大きな功績を残し た。養成・先代住職は1 た。参列者は故人の遺徳 910(明治43)年生ま を徳んだ。 黒田徹宗大和尚から 引き継ぎ、参列者のこ 嗣法。哲学館大(現東洋 先住師等を供養する)戒 門僧堂で安斎、保護司を 大中寺専 諷経を営んだ後、教授師 約60年務め、栃木県保護 法寺(岩手県奥州市)住 司会連合会会長、鹿沼市 職による説戒が行われ 選挙管理委員長を約40年 た。盛田住職は、効率を にわたり務めた。紺綬褒 優先し世間的に価値あ るものばかりが優先され る現代の世相に警鐘を鳴 日双光章などを受章し、



説戒する説戒師の盛田正孝・正法寺住職

お寺とのご縁を

黒田 住職



会場を洒水する堂頭の黒田征利・瑞光寺住職



江川禪師から血脈を頂く戒弟



大開静で、払子を振って会場を後にする江川禪師と合掌して見送る戒弟



因脈法会に参加した多数の檀信徒

感謝の気持ちを常に忘れ

らし、「人の心や命は役 らの仏性に自覚め、深い 「戒をよく保つ」とい に立つか立たないかは 信仰に根差した生活を送 齊に唱和し、仏行を自覚 実践することを誓った。 し、「私と教えと出会 会を営んだ。多くの方に 縁を結んでいただくこ ができ、大変ありがた い」と感謝した。

江川禪師は曹洞禪師の 言葉「我達人」を引用 1日で修する因脈法 縁を結んでいただくこ ができ、大変ありがた い」と感謝した。

は1週間行つことは難し 結んでいただければと思 った。26年前は5日間の 授戒会を修行させていた だったが、現代において

瑞光寺・松原寺住職の 黒田征利堂頭は「昨今は 無宗教を標榜する人が増 え、葬儀の簡素化などが 進むが、授戒会に参加す ることで、お寺と縁を 結んでいただければと思 った。26年前は5日間の 授戒会を修行させていた だったが、現代において

ず他に尊重し、心豊か に歩もうではありません か」と語り掛けた。 大開静では、会場を後 にする江川禪師が戒弟に 向かって払子を振り、何 度も「ありがと」と挨拶 し、戒弟も合掌で見送 った。